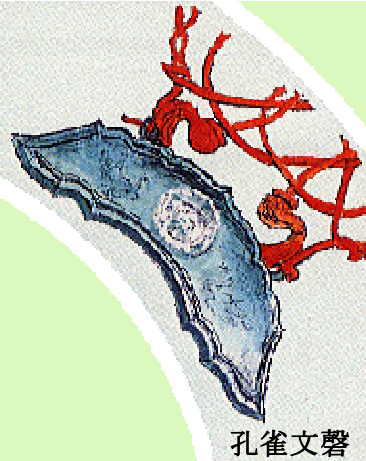




週報宇佐



孔雀文馨



RI会長
レイ・クリングスミス



第2720地区ガバナー
木下 光 一



宇佐ロータリークラブ会長
津々良 洋 一



陵王面

- 例会日 木曜日 PM12:30
- 例会場 宇佐市沖須町 1-19
トキハインダストリー長洲店 2F
TEL (0978) 38-1112

会 長 津々良 洋 一
幹 事 幡 手 一 義
編 集 本 庄 伸 子

10月は職業奉仕月間

本日のプログラム (10月28日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 内部卓話 廣瀬辰彦会員
6. 出席報告

10月の行事予定

- 7日 内部卓話 「職業奉仕月間にあたり」
白杵 確委員長
- 14日 内部卓話 西全州RC訪問報告
- 21日 外部卓話 米山奨学生 姜 鏘軒さん
- 28日 内部卓話 廣瀬辰彦会員

第2129回例会 平成22年10月21日 の記録

- 🕒 点 鐘
- 🎵 ソ ン グ 四つのテスト
- 👤 ゲ ス ト 米山奨学生 姜 鏘軒さん
- 👤 ビジター 梶原廣志君 (宇佐2001RC)

会長の時間 津々良洋一会長

先日土曜日に地区インターアクト協議会が大分であり、出席して参りましたのでその報告を少しさせていただきます。

今まで大分県側だけの、インターアクト協議会というのはありましたが、今回地区ということであり、そして急用ということで招集が遅かったこともあり、来られていないクラブもあり、出席者は16名と少し淋しい状況でしたが、木下

ガバナーそして次年度の本田ガバナーエレクトも見えられており、びっくりしました。議題は何点かありましたが、今回の本題は次年度のIA年次大会開催ホスト校の、選出にあり、どうするかといった話になったわけですが、順番からすると熊本側ですが、近年の学校統廃合等により条件的に難しいということになり、順番にこだわる必要もないだろうということ、大分

県側では第一候補別府RC（別府商業）、別府北RC（明豊）、宇佐八幡RC（安心院）、熊本側では熊本東RC（九州学院）、荒尾RC（有明）といったところとなりました。

ちなみに、IAは熊本側11校、大分側14校になっており、大分の方が多いのですが、ロータリーアクトは熊本の方が多いそうです。あと、決定事項としては、広報アピールとして、地区一斉街頭募金活動をしましょうということで、12/12（日）、この日は地区一斉清掃活動を行うようになっているとのことでしたが、まだ案内は来ておりません。やるとなれば、清掃後募金活動となるようです。

当クラブIAも8年前の年次大会をサポートしましたが、すぐに順番が回ってきそうです。懇親会も組まれていましたが、ちょうど予定が詰まっており、会費だけ納め帰って参りました。

ということで報告はこの辺で、話はかわりまして、本日卓話に、米山記念奨学生のキョウ・チュウケンさんにいらして頂いていますが、財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリー会員の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する日本独自の奨学団体です。財団法人としての設立は1967年（S42）、創立がほぼ当クラブと同じ歴史です。設立にはかなり苦労されたと聞いております。

目的としては、将来母国と日本との懸け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することとしており、奨学生採用数は年間800人、事業費は14.5億円（2009年度決算）と、国内では民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で15,776人（2010年4月現在）。その出身国は、世界119の国と地域に及びます。1位中国4644人・2位韓国3821人・3位台湾3256人・4位マレーシア809人・5位ベトナム498人・インドネシア・バングラディシュ・タイ・スリランカ・ネパールとなります。今年度も中国が圧倒的に多く826人中、402人、韓国117人となっております。

す。当地区では14名の受け入れをしております。尚、米山記念奨学会への寄付金額は全国では個人寄付額は平均15758円で、当2720地区では8072円となっております。寄付金額では下位の方にランクされているとのことで、地区から増額の要請もきておりますので、是非この機会に、寄附をお願いいたします。なお、R財団と同じく税控除（領収書の発行により）も受けられます。

幹 事 報 告	幡手一義幹事
----------------	---------------

1. 来信

- 1)第2720地区「国際奉仕・社会奉仕合同セミナー」開催のご案内；12月19日(日) 13:00～16:30 くまもと県民交流館パレア 締切11/25(木)
- 2)国際奉仕に関するアンケート調査について 締切11/25
- 3)ロータリー文庫より「ホームページリンクのお願い」

2. 例会変更

宇佐八幡RC：11/12(金)の例会は、同日18:30～「リバーサイドホテル宇佐」に変更；4クラブ合同親睦例会の為

宇佐2001RC：①11/3(水)の例会は、法定休日の為休会 ②11/10(水)の例会は、11/12(金)18:30～リバーサイドホテル宇佐」に変更；4クラブ合同親睦例会の為

中津RC：①11/3(水)の例会は、法定休日の為休会 ②11/10(水)の例会は、同日18:30～「グランプラザ中津ホテル」に変更；山形南RC歓迎夜例会の為

中津中央RC：①11/2(火)の例会は、同日12:30～「いずみの園」に変更；職場例会の為 ②11/9(火)の例会は、同日12:30～「薦神社」に変更；観菊例会の為 ③11/23(火)の例会は、法定休日の為休会

中津平成RC：11/18(木)の例会は、同日12:30～「向笠公園」に変更；清掃例会の為

津久見RC：10/26(火)の例会は、同日17:30～

「津久見市民会館」に変更；ガバナー公式訪問の為

3. 週報受理

くにさきRC、大分キャピタルRC

4. 理事会報告 なし

5. お知らせ

1)出欠の回覧を致します。

①4クラブ合同ソフトボール・親睦例会

②6クラブ合同チャリティーゴルフ

2)本日例会終了後、定例理事会を開催致します。役員・理事の方はお残り下さい。

6. 欠席連絡

砂山正則会員、高橋和治会員、長浦善徳会員
和田久継会員

7. 本日の当番

是永潤一会員、佐藤憲三郎会員

(ニコニコ)

梶原廣志君（宇佐2001RC）：久しぶりにおじやまします。

津々良洋一会長：米山奨学生の姜鏗軒さん、卓話よろしくお願ひいたします。

藤林鋭司会員：米山奨学生の姜鏗軒様卓話よろしくお願ひ致します。

是永潤一会員：中国からのお客様姜鏗軒さん卓話よろしくお願ひします。

本庄伸子会員：姜さん卓話よろしくお願ひします。

廣瀬辰彦会員：末宗さんロータリー文庫の製本ありがとうございました。

末宗為十会員：中津南高校教室棟改築B工区工事を落札する事が出来ました。

☺ニコニコ累計 188,000円

委員会報告

◎親睦活動

藤本博和委員長

1. 12日のソフトボール大会の締め切りが近づいていますのでよろしくお願いします。
2. 6クラブ合同ゴルフコンペのご案内ですが、去年も担当しましたが今年も担当することになりました。ガバナー補佐を輩出しているクラブがホストとなるようです。ご協力よろしくお願いします。11月23日（祝）にセントレジャーゴルフクラブ8時50分集合です。親睦会はかんぼの郷で18時30分からです。
3. 辛島会員の歓迎会をします。11月5日（金）ちよせで勉強会を兼ねて行います。時間などは来週回覧します。

スマイルカード

藤本博和委員長

(お祝い)

岩井謙次会員：結婚祝い



外部卓話

「一人っ子政策について」

米山奨学生 姜鏗軒さん

(中国・大分大学福祉社会科学部2年在籍)

今日は中国の一人っ子政策を紹介させていただきます。

一人っ子政策とは、中華人民共和国で改革開放政策が始動した1979年に始まった人口規制政策のことである。この政策によって人口を有効に抑えましたが、実施された30年経って、現在の中国においてその影響で少子化が進行している。

こうした人口規制政策は例外規定がある。

- 一、漢族に次いで人口が多いチワン族以外の少数民族に対しては免除されて、逆に人口が増えるという結果になっている。
- 二、漢民族同士の夫婦のみに適用されるため、夫もしくは妻のいずれかが外国人もしくは



は少数民族の場合は、この政策は適用されない。

三、中国国内の漢民族同士の夫婦でも、香港やマカオは一国二制度のため、適用対象外地域となっている。

四、都市部では一人っ子政策は強化せず遵守されるが、例外として双子等多胎児の場合は、全員が戸籍を持つことが許可される。

次は、政策によって引き起こされた問題について述べたいと思います。

一人っ子政策によって、中国はある程度の人口抑制に成功した。しかし、その一方で、その政策はいくつかの問題を抱えている。

戸籍上では夫婦一組が一人の子供しか持たないとしても、密かに産んだ子どもが戸籍外で生まれて、成長していったケースがある。つまり、黒孩子（ヘイハイズ）と呼ばれる子どもたちです。こうした子どもたちは国民として認められないため、学校教育や医療等の行政サービスを受けることができないといった状況にある。

また、一人っ子政策は違反すると罰金を払う制度がある。ですから、高額所得者は罰金を払うことによって普通に第二子の産むことを図っている。このため、政府は罰金の増加、違反者の公表、税金や社会保障での待遇格差をつける等の対策の強化を検討しているが、実際に予想した効果を収められなかった。

漢民族の伝統に従うと、普通には男子が親の面倒を見ることになる。

近年、一人っ子政策下で生まれ育った「80後」（1980年代に生まれた人）が成人に迎えています。そうしたような男女比がいびつなため、男は結婚できない者が急増している。男女比の偏り問題です。

現在、一人っ子政策の長年の実行による弊害が中国社会に生まれている。その1つとして、一人だけの子どもを「男の子で欲しい」と考え

る両親が多いため、中国社会における男女比が偏ってしまった。

昔からの中国、あるいは今の現代社会でも相変わらず男尊女卑という考えが根強く残っている。後継ぎには男の子が理想であるとする両親がかなり多く存在している。また、農村部においては、肉体労働を積極的に手伝ってくれる労働力を増やそうとするため、多くの農民が男児の出産を希望している。特に妊娠の時に、性別検査を行って、胎児が女子となりそうの場合は、中絶手術を行うケースが多発です。

この結果、男女比が偏ってしまって、普通「男105：女100」程度の男女比率は異変が起きた。現在、中国では「男117：女100」という偏った男女比になっている。さらに、広東省や広西チワン族自治区の局部地域では、「男130：女100」という極端な男女比率になってしまった。

こうした異常によって、多くの男性が結婚適齢期になっても結婚相手の女性を見つけられません。一人っ子政策が始まった後で生まれた世代の3分の2は、まだ20歳以下で結婚適齢期には達していません。しかし、今後この世代が結婚適齢期に到達すると、「男余り」問題はますます深刻になっていくでしょう。

そして、中国の一人っ子は両親と祖父母の6人の大人から一身に愛情を受けて育つため、甘やかされる傾向がある。以前の世代と異なる価値観を持っていて、甘やかされて自分で家事を行わなくて、自分での生活能力は非常に乏しいです。また感謝の意識や責任感がなくて、対人スキルが育たず自己中心です。こうした一人っ子同士の結婚では、離婚率が増加する一方です。

もう一つは、介護と過保護問題です。一人っ子同士が結婚して夫婦になると、夫婦2人だけで両方の両親4人の介護をしなければなりません。夫婦は共に働いているケースが多いですから、4人の両親を介護することは大変な負担になる。

人口抑制を進めた結果、2015年頃に労働力人口が減少に転じるということを予想される。そうなる、中国の経済へ深刻な影響を与えることになるだろう。ですから、労働力人口の確保の観点から、一人っ子政策の柔軟な運用あるいは見直しという意見が出されていた。それによって、政府の新政策としての「人口及び計画出産法」は2002年から施行された。現在、第2子の出産は都市部を含めた各地域の実情により認められるようになった。

一方、人口抑制という効果から見ると、一人っ子政策への評価をしなければなりません。国連の統計によって、1970年から1975年まで、中国の合計特殊出生率は平均で4.86で、1975年から1980年まで平均で3.32であったものに対して、1980年代以降は急速に低下した。1990年から1995年まで平均で1.92で、2000年から2005年まで平均で1.83となっている。これを出生数に換算すると、この30数年間で出生数を3億人程度減少させたと言われている。こうした出生力低下は「一人っ子政策」が効果をあげたものであると考えることができる。

中国は現在、世界で最も人口が多い国である。中国政府は、人口の増加が速すぎ、経済が未発達で、一人当たりの資源が相対的に不足していることが中国の基本的な国情であると認識している、中国の経済・社会の発展過程における多くの矛盾と問題はいずれも人口問題と切り離すことができず、人口問題は経済と社会の発展を制約する主要な要因であり、最も重要な問題でもある。人口問題をうまく解決できるか否かは、人々の生活の改善、全人民の資質の向上と中華民族の盛衰に直接かかわっており、さらには世界の平和と発展にもかかわっている。そこで、急激な人口増加を抑制し、人口と社会、経済の調和のとれた発展をはかるために、70年代の初めから、中国政府は全国的に計画出産政策を実施して成功をおさめ、中国と世界の人口を安定

させ、人類の発展と進歩を促すことに貢献した。

70年代初期に、中国政府は「晩、稀、少」の計画出産政策を打ち出したが、これは実質的に一つの出生モデルを提唱することであった。長年の努力により、中国の女子の出生モデルは70年代初期から現代の出生モデルへと転換した。80年代の変動を経て、出生モデルは50年代と60年代の「早、密、多」からしだいに90年代以降の「晩、稀、少」へと変化したのである。

出生率の低下により、出生人口の低下が起こった。90年代半ば以降に、全国的な調査研究を行って、結果は、計画出産政策の実施により、全国で3億人前後の人口の出産を減らすことができたことを示している。2008年中国政府が発表した「中国21世紀人口・発展」白書は「計画出産政策を実行して以来、全国で累計3億人余りの出生を減らし、国と社会のために大量の扶養コストを節約し、人口過多が資源と環境に与える圧力を緩和し、経済の発展と人々の生活レベルの向上を促進した」と指摘している。

いかなる社会政策にもマイナスの影響がある。

まず少子家庭の高齢者扶養リスクが挙げられる。出生率の急速な低下が人口学に与える直接的な悪影響は高齢化の加速である。人口高齢化が一国のマクロの社会、経済、文化など多方面に与える影響はすでに一部の高齢化レベルの高い先進国で実証されている。中国では状況がさらに特殊であるといえるかもしれない。都市の高齢者についていえば、主に「子供が成人後に家を離れ、高齢者が一人で生活している家族」がしだいに増え、精神的な慰めを欠いていることである。現段階で中国の農民の高齢者扶養の最も基本的かつ主要な形式は依然として伝統的な家族による高齢者扶養保障である。農民が計画出産を実行するという事は家族による将来の高齢者扶養の保障が弱まることを意味し、比較的大きな高齢者不要リスクに直面することになる。計画出産夫婦が高齢者となり、働く能力を失った後に、まだ高齢者に対する社会扶養シ

システムが確立していなかったら、彼らが貧困に陥ることは必至である。したがって高齢者扶養のリスクはすでに農村の計画出産夫婦の最大の心配事となっている。

次に一人っ子家庭の潜在的リスクが挙げられる。人口高齢化は「少子化」を招き、家族の規模や家族構成の変化に直接影響する。一人っ子家庭が今最も関心を持っているのは一人っ子自身とその家族の安全の問題である。一人っ子が事故で障害者となったり、死亡したりすることを多くの家族が心配している。こうしたリスクをうまく取り除くことができないと、社会にも、人口と計画出産政策の徹底と実行にも、マイナスの影響がもたらされかねない。

一人っ子政策の結果、中国でも日本と同様に少子高齢化社会の進展が懸念されている。現在は経済成長著しい中国であるが、このまま少子高齢化が進むと、20～40年後には経済に深刻な影響が出てくると予想されている。

そのために、一部では一人っ子政策の緩和に向かう動きも出てきている。例えば上海市は最近、一人っ子同士の両親に対して2人目の出産を奨励するような政策を打ち出した。

現在上海市の人口の22%が60歳以上の高齢者ですが、その数字は2020年には34%にもなると言われている。日本の65歳以上の高齢化率は、2020年の推計で29.3%とされている。統計の基準年齢に5歳の違いがあるので単純に比較はできないが、日本以上の高齢化社会になると予想される。

中国も高齢化社会対策として、一人っ子政策をこれから緩和していく必要があるかもしれない。しかし、完全に止めてしまうと、世界の人口爆発問題がさらに深刻化することになる。その両者のバランスをどう取るか、中国政府はこれから頭を悩まされることになる。

出席報告 出口幸太郎委員長

第2129回（10月21日）

会員総数	29名
（内出席免除）	1名
出席数	23名
（内事前 MU）	0名
欠席数	5名
出席率	82.14%

欠席者

小野田義文会員、砂山正則会員、高橋和治会員
長浦善徳会員、和田久継会員

※出席率の更正

◎10月7日の出席率は1名のメイクアップにより89.29%→**92.86%**に更正

□事後メイクアップ

出口幸太郎会員（宇佐2001RC）

桜並木草刈り

10月23日(土) 7時より

参加会員：津々良会長、幡手幹事、藤林会員
末宗会員、白杵会員、米澤会員

